

## 丸山城跡古墳について

日時 平成23年9月26日（月）

午後1時～

小浜市教育委員会 文化課 西島伸彦

### 1. 古墳とは？また古墳時代とは？

前方後円形、前方後方形、円形、方形、八角形などに土を盛って造られたお墓のことを古墳といいます。

古墳時代とは、弥生時代と奈良時代の間の約6百年間のことをいい、西暦では3世紀中頃から8世紀前半までを指します。

古墳時代は大きく前期、中期、後期に分けることができます。前期は西暦の3世紀中葉から4世紀後葉、中期は4世紀末葉から6世紀初頭、後期が6世紀前半からそれ以降ということになります。しかし、最近ではこの後期のあとに終末期を設けることが多く、後期が6世紀前半から7世紀初頭、終末期は7世紀前半から8世紀前半までということになります。

### 2. なぜ多くの墓の形があるのか？

多くの学者は、墳形によって身分秩序を現していると考えています。全国的に最大級の規模を持つ古墳や地域で最大の古墳を検討すると、前方後円形の墓が最もランクが高いということがわかってきました。日本最大の古墳は大阪府堺市の大仙古墳（仁徳天皇陵）で、全長が486mあります。最大のものから順に並べると100位くらいまでは前方後円墳で占められています。若狭町上中古墳群の上之塚古墳が100mの前方後円墳ですので、大きさでは畿内の巨大古墳に劣りますが、若狭地域では最大の古墳です。これら前方後円墳は若狭地域の中で上中地域に多く築かれていることから、若狭を治めていた首長（今でいう県知事）は上中地域を勢力基盤にしていたと考えることができます。この次のランクは前方後方墳で、この墳形のものは最大でも100m程のもので、畿内以東や出雲に多く認められます。若狭では三方地域の松尾谷古墳が該当します。これらの下にくるのが円墳となります。円墳は全国的に最も多い墳形で、若狭にも多く確認されています。小浜市検見坂古墳群が有名です。円墳の下に方墳が位置しています。大阪市の長原古墳群が有名です。八角形墳は皇族や大首長クラスに限られているようで高松塚古墳が有名です。

丸山城跡古墳は全長29.1mの前方後円墳であることから、若狭を治めた首長の一人と考えることができます。しかし、上中地域の古墳群の方が規模や副葬品の質からより上位に位置すると考えられ、上中地域にいる若狭を治める首長（大首長）を補佐するような

立場の人物が葬られている可能性があります。

### 3. 古墳の立地の意味は？

古墳は大きく山上に築かれる場合と、低地に築かれる場合があり、丸山城跡古墳は山上に築かれており、上中古墳群の大半は低地に築かれています。また、丸山城跡古墳は小浜湾を見下ろせる場所に築かれており、船舶の航行を監視するような役割を果たしていたと考えられます。対して上中古墳群は越前方面と近江方面の分岐点という交通の要衝に分布しているため、より政治的な配慮が働いているものと考えられます。

### 4. 埋葬施設はどのようになっていたのか？

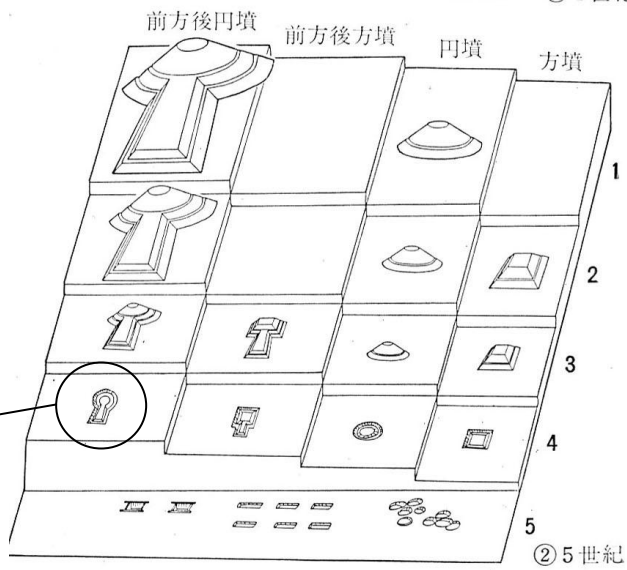
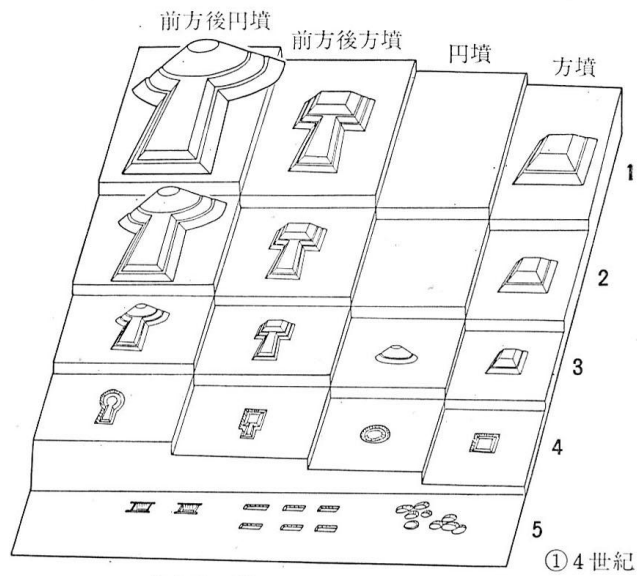
丸山城跡古墳は後円部と前方部に埋葬施設をもつことが想定されます。今回の調査により前方部の石室が横穴式石室であることが明らかになりました。後円部の埋葬施設は調査を行っていないことから不明ですが、前方部同様、横穴式石室が設けられている可能性があります。横穴式石室とは横から出入りする埋葬方式で、横穴式石室が設けられる以前は竪穴式石室という上から出入りする埋葬方式が採られていました。若狭において埋葬施設が複数設けられているものに十善の森古墳があります。また、埋葬施設ではありませんが、向山 1 号墳は後円部に本州最古級の横穴式石室を持ち、前方部には武器埋納施設を設けています。

### 5. 出土遺物は？

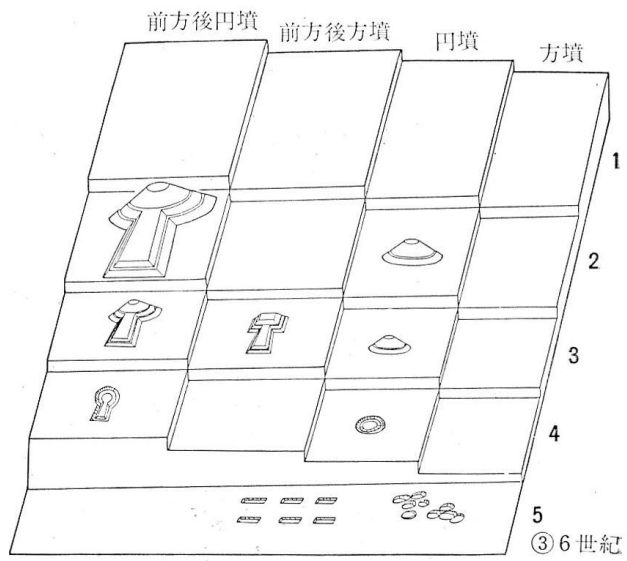
前方部石室内から出土遺物は確認されておらず、盗掘によって全て持ち出された可能性があります。しかし、古墳の周りを巡っていた朝顔形埴輪と円筒形埴輪が確認されていることから、丸山城跡古墳の築造時期は、埴輪の特徴から 5 世紀末から 6 世紀初頭頃が考えられます。

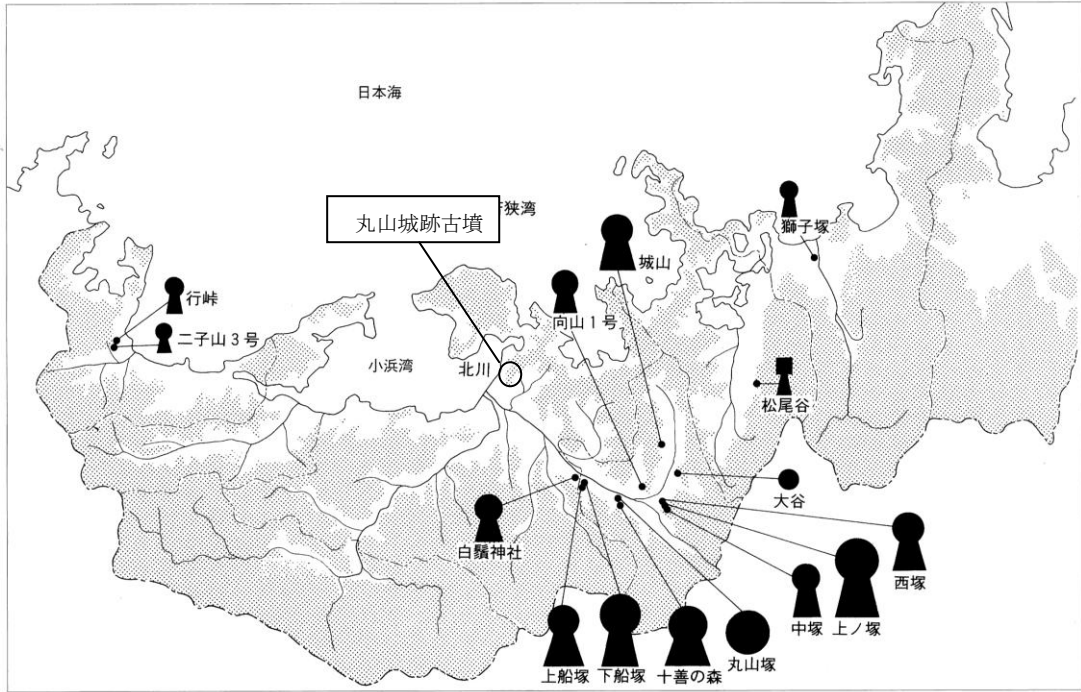
### 6. 丸山城跡古墳の被葬者像は？

丸山城跡古墳からは、小浜湾を見下ろせるとともに遠くに上中の古墳群を望むことができます。このことから交易路を監視する役割を担った人物が葬られている可能性があります。また、上中の古墳群の中に朝鮮半島からもたらされたと考えられる金製の耳飾りや冠を副葬しているものがあることから、対朝鮮半島との交易を担っていた可能性も想定されます。

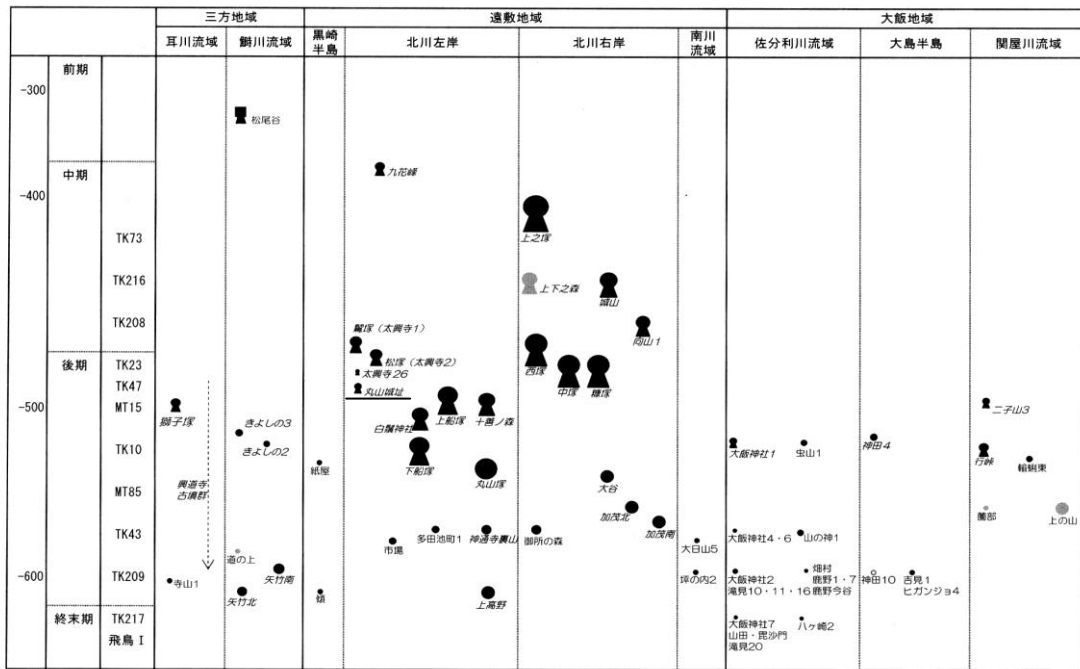


丸山城跡古墳  
のランク





若狭地方の古墳分布図

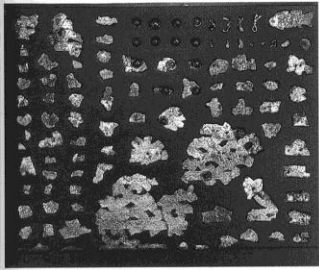


若狭地域の首長墓系譜

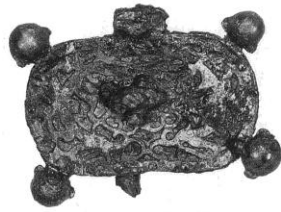


主要出土品

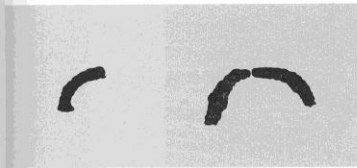
向山 1 号墳出土遺物



かんどう くつ  
金銅製冠帽・履片



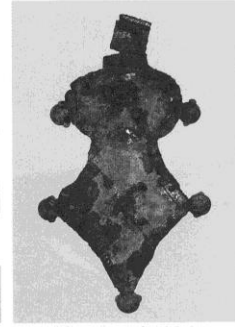
てつじこんどうばいりんがしりんがなすつぎあいの  
鉄地金銅張双龍文鈴付鏡板



かんどう  
ねり環頭片



かんどうはにわ  
円筒埴輪



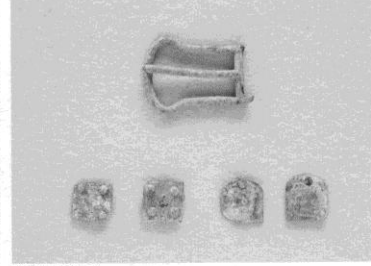
てつじこんどうばいりんがしりんがなすつぎあいのよう  
鉄地金銅張刺菱形鈴付杏葉  
所蔵:福井県若狭歴史民俗資料館



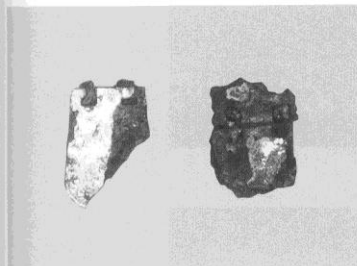
ほうかく ちくく しんがた  
方格短四神鏡片



まがたま  
水晶・ガラス製勾玉



かんどう おびから  
金銅製帯金具



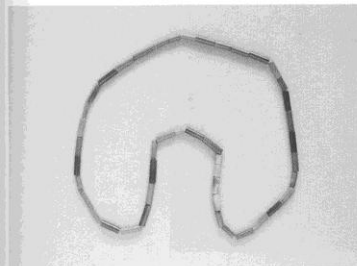
てつじ こんどうばり かべんがた  
鉄地金銅張花弁形杏葉片



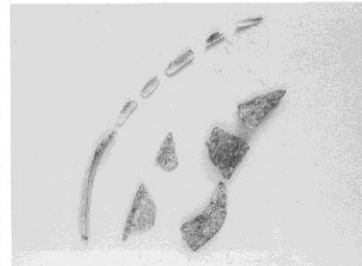
もくしんてつじはらわあま  
木心鉄板張輪鍔片



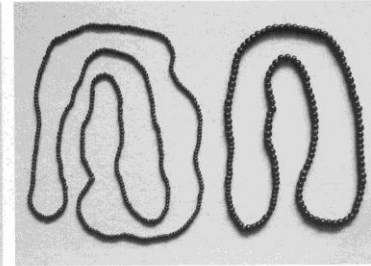
ガラス製とんぼ玉・なつめ玉



たまき  
碧玉製管玉

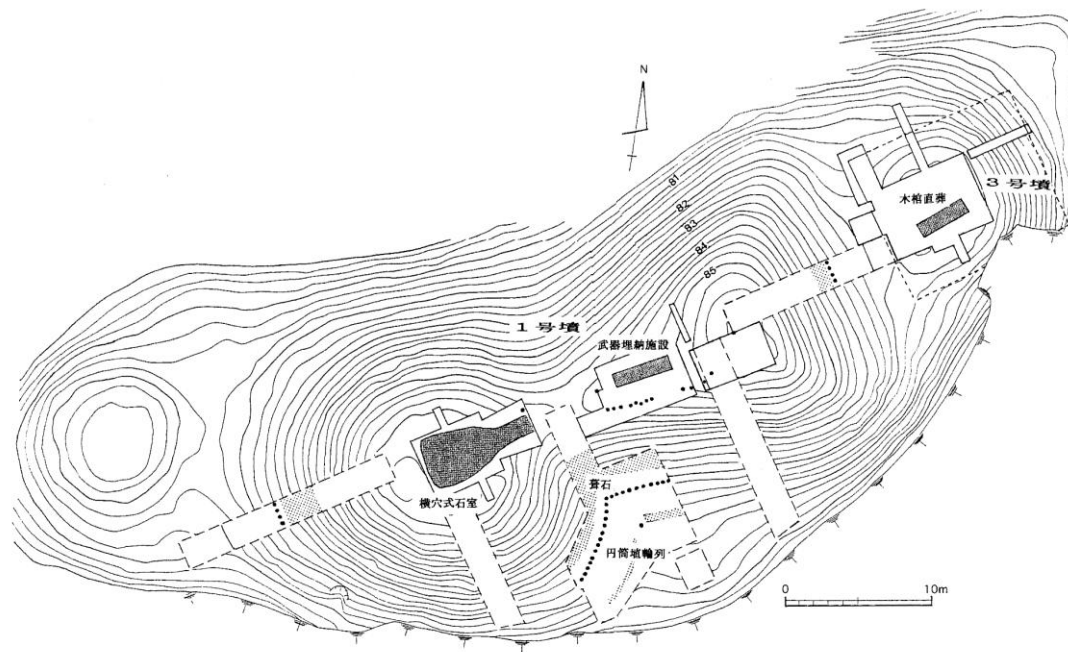


こんどうばりくらから  
金銅張鞍金具片



ガラス製小玉

十善の森古墳出土遺物



向山1号墳の遺構配置